



### (3) 県負担・補助率の考え方

「内水面漁業の振興に関する法律」において、効率的かつ安定的な内水面漁業の経営の育成に必要な措置を講ずることは県の責務として位置づけられており、安定的な遊漁料収入による漁業経営の改善は県が主体となって取り組むべき事業であり、県負担は妥当である。

県内各地で積極的な取り組みが行えるよう、事業補助率は1/2以内とする。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,342	情報発信の強化及び講習会開催等の誘客への支援
合計	5,342	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）

第4章 基本方針ごとの重点施策と主な取組

<基本方針2> 潜在力をフル活用した生産強化

【重点施策】（1）農畜水産物の供給力強化

【重点施策】（2）魅力ある農畜水産物づくり

<稼げる産地づくりの促進>

### (2) 国・他県の状況

若年層を中心とした新規遊漁者の獲得・定着を目的とした、複数の支援メニューを設けている事例はない。

### (3) 後年度の財政負担

岐阜県水産業振興計画に基づき、継続的な支援が求められる。

### (4) 事業主体及びその妥当性

漁協は放流事業や漁場管理のみならず、河川の巡回や清掃等、公益性の高い活動を行っている団体である。また、漁協が解散または活動休止した場合、漁場は県管理となるため行政コストが増大する。

「内水面漁業の振興に関する法律」において、効率的かつ安定的な内水面漁業の経営の育成に必要な措置を講ずることは県の責務として位置づけられていることから、県が支援する必要がある。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

**(事業内容)**

補助事業名	遊漁者誘客推進事業費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県漁業協同組合連合会、漁業協同組合 （理由）県内漁業協同組合の経営改善にかかる支援のため
補助事業の概要	（目的）新規遊漁者の獲得・定着 （内容）情報発信の強化や、体験型アクティビティ需要の増加を契機とした釣りへの誘導、魅力発信を支援
補助率・補助単価等	定額 （内容）事業に要する経費の1/2以内 （理由）遊漁者の誘客に向けた取り組みは、漁業協同組合の経営改善につながるとともに、事業の推進にもつながることから、双方が1/2ずつ負担する。
補助効果	新規遊漁者の獲得・定着により、県内漁業協同組合の経営の安定化が図られる。
終期の設定	終期 9年度 （理由）岐阜県水産業振興計画の終期が令和9年度であるため。

**(事業目標)**

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 若年層を中心とした釣りの機会を増加（29事業）させるとともに、参加者数を5,000人まで増加させる。</p>
---

**(目標の達成度を示す指標と実績)**

指標名	事業開始前 (R6)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R9)	
					達成率	
①事業数	16	/	/	20	29	/
②事業参加人数	945	/	/	2,500	5,000	/

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度
	/	/	/

**(これまでの取組内容と成果)**

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和 5 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和 6 年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

**(事業の評価)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><b>事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</b> 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</b> 3：期待以上の成果あり (単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標50%未満)</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)</b> 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価)	

**(今後の課題)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> 新規遊漁者が定着したかどうかを確認するには、複数年にわたり動向を注視する必要がある。</li> </ul>
--

**(次年度の方向性)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> 新規遊漁者の獲得・定着には複数年かかるため、継続的な支援が必要となる。</li> </ul>
--